

物流 100 年企業

第1回

顧客に恵まれ 122年

拠点拡大し強み發揮

「創業当時の馬車から、トラックにうまく切り替えることができたのが大きかった。後は戦争。他の運送会社を見て、も戦後にできて『創業七十年』という会社が多い」という小野社長。「荷主の日本ペイントさんも、ここ品川が発祥の地。ウチよりも10年ほど古い。日本ペ



小野運送店

小野正彦社長

も進出し、今までほ
売り上げの7分の1
に成長。これは塗料
を運んだ帰り荷を探
したことことがきっかけ
だった」という。
「創業120年と
いう」重みはある。
次の8代目がやりや
すい環境を整えるこ
とが大切だと思つて
いる」と話す。「そ
のために現在、どん
どん投資をして拠点
を増やしている。ウ
チは関東圏で強みを
発揮したい。危険物
倉庫という特殊な分
野を扱い、大手がつ
小野社長は就
任して12年目。
ドライバーから
スタートし、関
東の各地をま
わった。「歴代
の社長はずつと
東京にいたが、今
を回って会社の立
場や現場を知つて
ことが私の強みで
の経験をいま存
在する」と考
え、「後継者は、
されば息子と考
えているが、これか



氏子綏伐奉務協多日川神社

派手なことをしことが良かつたかもしれない。おに恵まれたこときい」と、12続く秘訣を話すの「22年に向「まずは私の時ができることがあります投資を関東圏にオイルの荷物をさせ。拡大さ利益を出し、そ益でまた拡大す守りに入ること前に進みたい」と氏子総代を務める品川神社

しサービスも手掛ける兵庫県内のトータル事業者はそうです。過日、消費者を訪れた事業者の多くは、積もり担当者から改めて連絡があり、お詫びの言葉とともに、運送料金の改定についての説明を受けました。

事業者は、「物流
大手にとつて18万円
とか」と驚いてい
たという。
事業者は、「物流
大手にとつて18万円
とか」と驚いてい
たという。

掛けられた相手が国内有数の物流大手となれば、消費者に残るのは、その大手の名前だけでなく、物流業界全体に対する不信感になってしまわないか』。「人手不足による引越し難民」という言葉が連日各メディアに流れる中、次つづけて

「運賃水準が低いから人が来なくなった。運賃制度を壊したのは国交省のものだ」。そうした議論、つまり「運賃規制緩和否定論」がいまも、ト協の会合では聞かれる。トラック輸送産業を観察し続けている立場からいえば、「全くだ」と思う気持ちが半面。ただ、例に示した引っ越し見積もりのような状況が業界大手から作り出されないと耳にしては、もう手を挙げているわけにもいかない。なぜ

もっと原価計算公表を

なら、「なくなつた運賃制度を利用してもうけしているくせに」という消費者の声が聞かずとも理解できるからだ。

「社会との共生」は、ト協が掲げる重要なスローガンの一つだ。しかし、引っ越し見積もりのような状況を放置していくは、そのスローガンにも鼻が白む思いである。片方の企業物流も同様だ。荷主との契約ベースとなる改定約款で新設された「運賃・料金の別建て収受」の考え方を真っ向から否定する大手メーカーに対して次のアクションが起こせないのである。事業者の立場から見て「共生」の言葉にこちらも鼻が白む。契約という考え方を、もうと浸透させる必要を感じる。相手を見た料金設定は世の常なのかもしれないが、例えば自社の原価計算をもとにした運賃・料金表をホームページで堂々と掲げるトラック事業者があつていい。

改定約款施行
企業物流では、
に待機時間や積
み料金が設定さ
といった話はあ
聞かれない。從
ら「残業料金」と
た類の設定が契
階でなされてき
流業務で、その
が明確化される
になったとの声
うぼうと聞かれ
るだ。(西)訓

改定約款施行
企業物流では、
に待機時間や積
み料金が設定さ
といった話はあ
聞かれない。從
ら「残業料金」と
た類の設定が契
階でなされてき
流業務で、その
が明確化される
になったとの声
ろぼろと聞かれ
度だ。（西口訓
派手なことをし
ことが良かった
かもしれない。お
に恵まれたこと
きい」と、12
続く秘訣を話す
の122年に向
「まずは私の時
できることをす
投資を関東圏に
し、危険物、塗
オイルの荷物を
させる。拡大さ
利益を出し、そ
益でまた拡大す
守りに入ること
前に進みたい」